

令和 5 年 10 月 25 日

各位

KDDI 健康保険組合

「年収の壁・支援強化パッケージ」における「130 万円の壁」への当組合の対応について

拝啓 平素は健康保険業務の円滑な運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、国（厚生労働省）において「年収の壁・支援強化パッケージ」が決定されたことを受け、『事業主の証明による被扶養者認定の円滑化』が実施されることとなりました。
つきましては、当組合における対応は以下の通りとなりますので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

【概要】

健康保険の被扶養者となれる収入要件は、年間 130 万円未満（60 歳以上・障がいをお持ちの方は 180 万円未満）で、かつ被保険者の収入の 2 分の 1 未満となりますが、その収入確認に当たって、通常提出が求められる書類と併せて、『被扶養者の収入確認に当たっての「一時的な収入変動」に係る事業主の証明書（別添 1）』を提出することで、一時的な収入増加分を含まない金額で、収入要件を判定するものです（※）。

※上記の収入要件を超えてしまう理由が『一時的な』収入変動である場合に限られます。

一時的な収入変動とは、主に繁忙により時間外勤務（残業）手当が増加したり、臨時的に支払われる繁忙手当等が支払われた場合などが該当いたします。

雇用契約書で収入要件以上の金額を恒常的に受け取ることが明らかな場合、基本給が上がった場合や恒常的な手当が新設された場合など今後も引き続き収入が増えることが確実な場合においては、一時的な収入増加とは認められません。

※あくまでも「一時的な事情」として認定を行うことから、当該措置は、同一の者について原則として連続する 2 年間までとなります。

※フリーランスや自営業者など特定の事業主と雇用関係にない場合は、今回の措置の対象とはなりません。

【運用開始日】

令和 5 年 10 月 20 日 ≪国（厚生労働省）の通知発出日≫

同日以降の被扶養者認定及び被扶養者の収入確認において適用します。

同日より前の扶養認定及び被扶養者に係る確認については遡及しない取扱いとなります。

【手続き方法】

≪これから当組合へ被扶養者申請を行う方≫

通常提出していただく書類（所得証明書や直近 3 ヶ月分の給与明細書、雇用契約書など）から判断すると、収入要件を満たしていない（収入超過である）が、その収入超過が一時的なものである場合には、『被扶養者の収入確認に当たっての「一時的な収入変動」に係る事業主の証明書（別添 1）』を、被扶養者（異動）届や被扶養者認定調書、通常提出する添付書類と併せてご提出ください。収入要件につきましては、一時的な収入増加分を含まない金額で判断いたします。

≪現在、当組合の被扶養者である方≫ ※調査実施までは手続き不要

当組合では、定期的に被扶養者資格を満たしているかを確認する調査（検認）を実施しております。その調査を実施した際に、収入要件を満たしていない（収入超過である）方につきまして、その収入超過が一時的なものである場合には、『被扶養者の収入確認に当たっての「一時的な収入変動」に係る事業主の証明書（別添 1）』を提出していただくこととなりますが、調査が実施されるまでは、当該証明書の提出は必要ありません。

【参考リンク】

[年収の壁・支援強化パッケージ | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://mhlw.go.jp) 「130 万円の壁」への対応

以上